

全方位カメラで地図作成

帝国建設コンサルタント

測量、地質調査の「帝国建設コンサルタント」（岐阜市）は、全方位カメラの映像から、地図データを作成するシステムを新たに導入した。一般的な地上測量より正確で、迅速さが特長。同社によると導入は国内初という。（佐久間博康）

国内初 速く正確に測量

映像による地図データは、映像から建物の高さや道路の距離、緯度経度などの位置関係を割り出すことが可能。道路などを整備した際に行政は台帳を修正するため、同社は需要があると見ている。

乗用車で路上を時速

光案内の看板や街路樹をどの大きさでどの位置に設けたらいいかなどの役にも立つ。

システムは、画像処理が専門の札幌市のベンチャー企業が開発。

帝国建設コンサルが測量に活用できるようアラレンジした。導入費は乗用車の車両を含め約三千万円。

全方位カメラは、乗用車の上部と後部の二カ所に搭載。上部と五つの側面に計六個ずつのカメラを装備しており、一カ所ではとらえにくい色や、凹凸とい

能のソフトもある。観

伊藤将隆執行役員は「より正確で迅速な地図データ作成の要望に応えられる」と話す。百キの路上を測量す



①上部と後部の2カ所に全方位カメラを搭載した車両

岐阜市日光町の帝国建設コンサルタントで ②作図した

地図データの計測事例（帝国建設コンサルタント提供）

る場合、一キ当たり二万五千円程度で受け付ける。問い合わせは、同社空間情報センター 電話058(233)5202へ。